

吉中千絵

5歳よりヴァイオリンを始める。マンハッタン音楽院にて学士号、ニューヨーク大学にて修士号を修め、その後ニューヨークを拠点に米国内、海外でソロ、室内楽の演奏活動を続けている。田中直子、Neil Weintrob、Peter Winogradに師事。

2010年から、アメリカ・コネチカット州の St.Paul's Episcopal Church のオーケストラとバロック時代のヴァイオリン協奏曲を毎年共演。また2013年、イスラエル・フィルハーモニックの元主席チェリスト、Micha Haran と共にブラームスのヴァイオリンとチェロの為の協奏曲を、フィリピンの ABS-CBN Philharmonic と共演し、以来 Orchestra of the Filipino Youth の Visiting Mentor として、精力的にフィリピンの子供たちの音楽教育の為のチャリティーコンサートなどに携わっている。2016年は Child Aid Asia Malaysia のオーケストラ指導と公開レッスンの為にクアラルンプールに招聘され、アジアの若い音楽家の教育に携わる。これまでアメリカ、オーストリア、日本でリサイタルに出演、またゲスト・コンサートマスターとして、Lake George Chamber Orchestra（ニューヨーク）など多数のオーケストラに参加している。